



# あまみ



© Amami city

第45号

平成29年6月発行

## 市議会だより



奄美群島国立公園記念セレモニー（平成29年3月7日）

### 第1回定例会

平成29年2月21日～3月24日

発行／奄美市議会

編集／奄美市議会だより編集委員会

〒894-8555

鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号

TEL (0997) 52-1111

FAX (0997) 52-2815

Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

第1回定例会一般質問・・・・・・・・・・2P～8P

定例会の主な議案・・・・・・・・・・8P～9P

請願・陳情・・・・・・・・・・9P～10P

常任委員会の審査概要・・・・・・・・10P～11P

予算等審査特別委員会の審査概要・・・11P

議会の動き・・・・・・・・・・12P

# 第一回定例会 一般質問

三月六日、七日、八日、九日の四日間で十八名の議員が市政全般について市当局に問いました。要約を紹介します。

(質問順に掲載)

## 観光拠点と交通網の整備について

平川 ひろかわ  
久嘉 ひさよし  
(自由民主党)



動画視聴



**問** 国立公園指定、世界自然遺産登録に向けた観光増加に対応する体制整備について

### 整備について

**答** 自然資源を活用したエコツアールガイドの資質向上と受け入れ態勢づくり、観光客の増加を二過性にならないための地域連携による着地型観光事業の構築、集落や地域団体が参画する受入体制を構築し、ふれあい交流による奄美ファンづくりの持続性ある観光振興をめざす。

**問** 観光拠点と交通網の整備について

**答** 笠利地区における観光拠点であるあやまる岬台地と観光公園の整備を進め、公園内のトイレ休憩施設整備や台地の駐車場ロータリーの舗装を行い、今後は展望デッキ、観光客等への情報発信、地元食材を活用した飲食店の整備を計画している。

**問** 地域住民への意識啓発について

**答** 先例地を参考に世界自然遺産登録へ向けての出前講座や環境省と連携した住民説明会、広報紙やホームページ等による周知を図り地域住民の理解ある意識の啓発に努める。

検索

奄美市議会 議会登録配信

議員顔写真下の二次元コードを、スマートフォン等のバーコードリーダーで読み取ることで、一般質問の録画中継がご覧いただけます。

## 市長選の進退について

里 さと  
秀和 ひでかず  
(自民新風会)



動画視聴



**問** 市長選の進退について

**答** 平成29年度はその先の各種大型プロジェクトの完遂につながる大変重要な時期である。まずは残された任期の期間、各種事業を着実に推進することと職員と共に取り組んでいく。

**問** 奄美市飼い猫の適正な飼養及び管理に関する条例の一部改正について

**答** 今回の改正では罰則規定を設定していないが、多方面から条例の実効性の指摘もあり、奄美大島ねこ対策協議会の中で、今後専門家や市民の声を聞き、新年度の早い時期に罰則規定に関する条例改正案を示していく。

その他の質問事項

- 国道58号おがみ山ハイパス事業について
- 外来種対策について
- 財政規律を確立し、財政の健全化実現、市民のために奉仕する市役所について
- 農林水産業、特産物情報産業の活性化推進について

今後専門家や市民の声を

## 本土の高校進学に伴う生徒の

### 過去5年間の実態について

**松山さおり** (無所属)



動画視聴



**問** 県が今年度から離島生徒大会参加助成事業を行うが、具体的な予算について

**答** 県の平成29年度予算において、離島生徒大会参加助成事業費として1552万7千円が計上されており、具体的には「県内離島の各学校所属の運動部と文化部が県本土の大会に参加する際の船舶運賃を2割程度補助する」という事。

**問** 本土の高校進学に伴う生徒の過去5年間の実態について

**答** 24年から、524名うち41名(7.8%)、474名うち44名(9.2%)、458名うち36名(7.8%)、443名うち50名(11.2%)、469名うち42名(8.9%)となっており、過去5年間で213名が本土の高校に進学している。

**問** ふるさと納税返礼品提供事業者との連携について事業者どうしの横のつながりを市が構築していくべきではないか

**答** これまでの検証を踏まえこれからの取り組みを強化する目的で個別相談を計画し、2月中旬にJTB西日本と合同で開催28事業者の参加があった。

## 教育予算編成における

### 重点施策・事業は何か

**関 誠之** (社会民主党)



動画視聴



**問** 朝山市長二期目最後の予算編成の総括と重点事項等の積み残しは何か

**答** 世界自然遺産に向けた取組、本庁舎建設、末広港土地区画整理事業、マリントウンプロジェクトなど大型事業、福祉・教育の充実に向け、過去最大規模と同程度の予算を編成した。二期八年の中で公約をしっかりと予算化し、各種施策に取り組みたい認識している。

**問** 教育予算編成における重点施策・事業は何か

**答** 「学校ICT環境整備事業」で学校に、電子黒

板等のICT機器を二台設置し、平成31年度には計画を達成したい。

名瀬・住用給食センターは、今年度に債務負担行為を含め約12億1200万円を計上した。新たに、名瀬公民館に替わる、市民交流センター(仮称)建設を平成32年度中の完成を見込み、今年度は基本設計を行い、来年度は実施設計を予定している。

#### その他の質問事項

○次期奄振法改正の取組  
○自衛隊基地への水道施設建設の負担金について

## ジュース加工センター

### 整備について

**師玉 敏代** (自民新風会)



動画視聴



**問** 重点振興作物の販路拡大と加工ジュースセンターの整備について

**答** 来年のタンカンの生産状況を踏まえ、構成市町村や生産農家、JAの果樹部会等の中で、加工施設の整備を検討したい。カボチャの栽培面積は平成27年度は、13.7haで年々増加傾向にあり、今後も増産に向け支援したい。輸送コスト支援事業費の野菜品目の99%を占めている。

**問** 移住・定住促進につながる、地域おこし協力

隊員の増員について

**答** 地元住民の協力体制や隊員のミッションを明確に示し、「本気で人口を増やしたい集落応援事業」と合わせて、今後の募集について検討したい。

**問** 病時病後時保育の現状と進め方について

**答** 利用者が大幅に増え流行病の場合、定員3名以上の利用があり、医療機関と連携して、ファミリーサポートセンターでの対応ができないか検討したい。

#### その他の質問事項

○奄美留学・親子山村留学・魅力ある学校づくり事業について  
○新入学生に対応した学童保育

## 介護予防・日常生活総合支援

### 事業について

橋口 耕太郎  
(公明党)



動画視聴



**問** 奄美市生活介護員の本事業における役割について

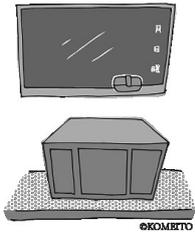
**答** 要支援1・2の認定者のサービスのうち、全国一律の予防給付ではなく、市町村の行う地域支援事業の中で行うこととなったもので、生活介護員の役割は、専門的な知識を必要としない、買い物、洗濯、掃除などについて市の研修を受講した、奄美市生活介護員が担うもの。専門職の皆様が重点的に専門的な支援を行えるようになることを期待している。

**問** 児童・生徒の直近の学力の現状は

**答** 小5では4教科で県平均を上回る又は同等。中1では県平均と差があったが、縮まってきている。特に理科が縮まったことが成果と考えている。

**問** さらになる学力向上へのように力をいれるか

**答** 児童生徒が能動的、主体的に考えを深める授業の改善を進め、数値目標を設定し、解決の方策を具体化させ全職員共通理解のもと取組む。同時に読書力の向上や家庭学習の習慣化を図っていきたい。



## 文化センターと長浜埠頭間の

### 道路整備について

戸内 恭次  
(無所属)



動画視聴



**問** 文化センターと長浜埠頭間の通路整備について

**答** 今年度整備の目処がたったので、長浜埠頭奥の堤防沿いの通路に、手すり付き、防犯灯付きの階段整備を発注し、年度内完成を予定している。

**問** 民泊拡充の為の行政の取組について

**答** 民泊の推進の為、勉強会やセミナー開催を行う。

**問** 中学生の高校スポーツ進学について

**答** 奄美市内全体で、平成28年は23名平成27年は24名が進学した。

**問** 奄美市内の高校へ海外留学生受け入れについて

**答** 県独自の受け入れ制度はなく、各県立高等学校独自の受け入れになっている。

**問** LCC就航を機に、関東、関西の中学生とのスポーツ交流はできないか

**答** LCC就航により可能性は大きくなるが、関東、関西の関係機関や郷友会及び百人応援団などの情報連携を図ることにより、中学校だけでなく各種団体間の交流も可能であると考えている。

## 市営住宅の空き室の

### 実態はどうか

崎田 信正  
(日本共産党)



動画視聴



**問** 市営住宅の住替え希望者の対策への見解は

**答** 住替えの需要は年々高まっていると認識している。受け入れ可能な住宅戸数にも限りがあり、要望にすべて応えるのは難しく検討課題としたい。

**問** 市営住宅の空き室の実態はどうか

**答** 老朽化等により破損が著しく入居募集を停止した政策空家を除き2154戸ある。入居者募集対象の空家は152戸。

佐大熊住宅は72戸あり、修繕が完了し、入居可能

が12戸、その他でも14戸あり、入居案内を行っている。現在の入居待機者は、名瀬地区525人、笠利地区30人となっている。

**問** 準要保護者の就学援助制度で国が補助費目追加した3項目の拡大はできたか

**答** クラブ活動費、生徒会費、PTA会費の3項目は補助対象になっていない。1700万円程度の恒久的な財源確保が必要で慎重に検討したい。29年度は体育実技で必要な柔道着や剣道竹刀等にかかる用具費を計上している。

## ふるさと納税について

もとの けいいち  
**元野 景一**

(自民民主党)



動画視聴



**問** ふるさと納税の現在の状況は

**答** 平成29年2月末現在、寄付申込金額は83300万円、件数は2740件、寄付者に占める奄美出身者の割合は64%、寄付金に占める出身者の割合は、16%となっている。申込金額のうち、入金済の金額は8200万円で、委託業者に支払う委託料の執行状況は、平成29年1月分を含め2月末現在4500万円となっており、委託料を差し引くと、申込み金額のおよそ4割が奄美市の実質的な歳入となる見積である。

**問** 自衛隊と奄美市との連絡調整について、奄美市はどのような体制を執っているか

**答** 自衛隊配備に伴う連絡や各種調整、また災害対策などに対応する体制として、総務課内に職員2名を配置している。九州防衛局、熊本防衛支局などとの連携を図りながら対応している。

## 沖縄〜奄美路線の利用拡大について

にし きみお  
**西 公郎**

(自民新風会)



動画視聴



**問** 沖縄〜奄美路線の利用拡大をどの様に推進していくのか

**答** JACによる徳之島〜沖永良部〜沖縄線の新年度開設は、まさに時宜をえたものであり、更なる交流人口の拡大が期待され、奄美沖縄連携交流促進事業の継続、拡大はもとより交通ネットワークの充実にも取り組みたい。

**問** 奄美市消防出初式における自衛隊参加について

**答** 来年から奄美市消防出初式への参加を案内する。今後とも地域におけ

## 利用拡大について

る安心安全な町づくりの観点から、大規模、広域的な災害対応が可能である自衛隊や防災関係機関と更に連携強化に努めたい。

**問** 鹿児島県工業技術センター活用計画について

**答** 大島紬の後継者育成の拠点として活用すべきと内容がまとまる予定である。

その他の質問事項

○笠利町あやまる岬グラウンドゴルフ場について

○市内校長室、職員室クローラー未設置地区での今後の予算措置について

○ドクターヘリ出動要請、運用実績、運用規定について

## 奄美市総合計画

### 後期基本計画について

はろしゆま かすみ  
**林山 克巳**

(無所属)



動画視聴



いて

**答** 電子黒板の導入に関して、現在は、5小学校4中学校に導入。19年度までに各教室に1台設置を目標としている。

**問** フリーランス支援事業(平成29年も同額の500万円の予算の展望)兼業・副業における取組との比較について

**答** 兼業・副業における取組との比較につきましては、現在の取り組みは、働く方がより収入が得られるよう支援に努めており、兼業・副業の方にも取り組みやすい分野の人材育成を行っており、講座受講者は、他に仕事をを持つ方も多く受講されている。

**問** ふるさと納税における特産品事業社の利益率について

**答** 納税額の4割が特産品事業者の取り分になるが、昨年7月から新たな展開(ふるぽ)を始めて、1年を迎えようとする中で、見直しも検討している。

**問** 離島間航空運賃の軽減(原資)について

**答** 県が実施している着陸料の減免を原資の一部として還元され、割引率は全体で54%に拡大されている。

**問** 情報・通信技術による学校環境整備事業につ

## 非常勤保育士の処遇改善に

### 向けての取組みは

橋口 和仁  
はしぐち かずひと  
(自民新風会)



動画視聴



**問** 非常勤保育士の処遇改善に向けての取組みは

**答** 非常勤職員の保育士の賃金については、昨年度と比較してクラス担任で月額1万2千円、クラス担任でない場合は、月額2千円の処遇改善を行っており、今後も、賃金や働きやすい職場環境づくりなどに努力していききたい。

**問** 本市の各学校のICT化に向けての取組みは

**答** 本市では、「ICT教育推進協議会」を設置し、機器の選定や教職員への研修のあり方、効果的な

活用事例の収集、紹介などを検討し、学力向上を図るためICT機器として、電子黒板の設置を3年かけて、全教室に設置する予定である。

**問** 農産物加工施設に向けての取組みは

**答** 加工場整備については、選果場整備同様、奄美大島本島の市町村での広域的な施設として整備を考えており、構成市町村や生産者を含めたJA果樹部会とも協議をしていきたい。

**問** 奄美満喫ツアーについて

**答** 世界遺産登録後の観光客増加も見据え、平成30年度には、観光の動向と形態の変化に対応した新たな制度設計も検討していきたい。

## ミカンコミバエの現在の

### 状況について

奥 輝人  
おく てるひと  
(自由民主党)



動画視聴



**問** ミカンコミバエの現在の状況についてとマニュアルの見直しについて

**答** 奄美大島では、根絶が確認され、緊急防除が解除となり、その後も、トラップ調査による誘殺は確認されていない。

「ミカンコミバエ種群誘殺時の対応マニュアル」を新たに定め、果樹生産者等に説明会を開催している。テックス板の設置については、平常時は行っていないが万が一に備え、門司植物防疫所名瀬支所にて備蓄している。農家への情報伝達については、植物防疫所のホームページに

て公開している。

**問** タンカンのトップセールスマン（市長）の開催状況について

**答** 奄美タンカンを全国各地の奄美関係者、ふるさと100人応援団の皆様などに届けている。また東京や福岡など全国各地で行なわれる物産展において積極的にPRし販売を行っている。また、マンガやパッションフルーツにおいても、関係団体と連携を図り、実施に向け取り組んでいく。

## 地方創生で基盤産業を

### 強化するための施策は

安田 壮平  
やすだ そうへい  
(自民新風会)



動画視聴



**問** 地方創生で基盤産業を強化するための施策は

**答** 農林漁業では青年就農給付金事業や漁業担い手育成支援事業、製造業では本場奄美大島産地再生計画に基づく伝統技術の継承、観光業ではDMO推進事業や北部観光拠点施設整備などに取り組む。

**問** 昨今の雇用情勢について認識は

**答** 管内の有効求人倍率は改善しているが、宿泊・飲食サービス業などを中心に人手不足を懸念する声も把握している。今後

は従業員の採用と定着を後押しすべく国の各種支援制度を活用し、各関係機関と連携して「魅力ある職場づくり」を進めたい。

**問** 小湊フワガネク遺跡の歴史的価値と今後の活用は

**答** 南西諸島特有の夜光貝など大型貝類を利用した約1400年前の貝製品生産遺跡で、国指定史跡と国の重要文化財を有している。昨年度は小湊でシンポジウム開催や説明板新設をした。今後は「史跡保存活用計画」を策定し、現地で学べるガイドンス施設の整備なども議論していきたい。

## 新生児聴覚検査の検査方法、費用等について

さかえ  
栄 ヤスエ（公明党）



動画視聴



**問** 新生児聴覚検査の検査方法、費用等について

**答** 市内2ヶ所の医療機関について、生後3日以内に音に対する脳や内耳の反応を測定する。新生児を対象に新年度から、検査費用3千円の助成を予定。

**問** 聴覚障害者（ろうあ者・難聴者・中途失聴者）について

**答** 本市における身体障害者手帳所持者数は、495人。手話通訳派遣事業や手話通訳養成講座を奄美地区聴覚者協会へ委託し開催。16人が登録している。派遣についての窓

## 費用等について

口は、福祉政策課になつてゐる。

**問** 要約筆記者の養成と派遣について

**答** 要約筆記は、話の内容を文字にして伝達する手話を話さない中途視聴者などには大きな助けとなる。養成については、要約筆記利用のニーズ等把握した上で検討する。

その他の質問事項

○「飼い猫の適正な飼養及び管理に関する条例」改正について

○ノネコ対策について  
○生活困窮者自立支援制度について

## 陸上自衛隊基地建設について

みしま  
三島 照（日本共産党）



動画視聴



**問** 陸上自衛隊基地建設について安全対策は

**答** 工事の時期は今年8月頃から平成31年2月末頃までを予定しており、安全面については、他の重なる工事とも連携を図りながら十分配慮する予定である。

**問** 中小企業振興条例と公契約条例制定に向けた進捗状況は

**答** 新年度中に中小企業振興会議を設置し、意見等聞きながら中小企業の振興に有効な施策についての協議や実施に向けた検討をしよう。

## 安全対策は

**問** 市民生活の現状をどう見ているか

**答** 小売業における一商店当りの年間販売額、従事者数は平成24年調査時まで増加していたが26年の調査以降減っている。

**問** 崎原地域での廃棄物処分場計画について意見書を提出すべきでは

**答** 住民の懸念や疑念に十分応えて頂くよう住民説明会の実施を要請し、最大限の敬意を払って頂くよう伝えている。また県に対しても業者に対し市の要請に添えて指導と監督をお願いしよう。

## 少年サポートセンター

あたえ  
与 勝広（公明党）



動画視聴



**問** 教員の仕事量に対する負担軽減の為に校務支援システムの導入は考えられないのか

**答** 文部科学省の調べによると全国の約46%の自治体で導入されており、その内の約87%の自治体で達成もしくは改善がされたと回答している。

この校務支援システム導入に当たっては財政面やセキュリティの問題等、解決しなければならぬ課題があるので、しっかりと考えよう。

## 設置について

**問** 少年サポートセンター設置について

**答** 福祉政策課に「青少年支援対策官」を配置しているが、奄美警察署と連携して相談者の問題解決に取り組んでいます。問題行動のある少年については、少年だけの問題ではなく保護者も含めた家庭の問題と認識している。庁内の関係各課や、奄美警察署、大島児童相談所など関係機関と情報共有や連携をはかりながら問題解決に取り組んでおり、今後検討していきたいと認識しよう。

# と畜場建設について

かわぐち こうぎ  
川口 幸義 (自由民主党)



動画視聴



## 問と畜場建設について

答 これまでの経緯としては、平成27年5月に庁内検討委員会を立ち上げ、同年7月には5市町村参加の検討委員会を立ち上げ、5市町村同意の下、新たなと畜場建設を目指すこととなった。その後協議を重ね本年1月30日に奄美大島食肉センター建設推進協議会を正式に立ち上げ、奄美群島振興開発事業による施設建設に向け準備を進めている。

## 問 観光行政のクルーズ船寄港について及び入港時の下船客数と経済波及効果について

答 波及効果について、平成28年度の乗船客数の合計は約43



と畜場

〇〇名の見込みとなっている。

なお、経済波及効果については、今年度9回のクルーズ客船寄港を予定しており、乗船客約4300名が奄美大島にもたらす経済波及効果額は1億5200万円になると試算している。

## その他の質問事項

- 〇大浜海浜公園整備について
- 〇離島生徒大会助成制度について
- 〇農業委員会について
- 〇農地中間管理事業について

## 第1回定例会の主な議案

議案等番号	件名	議決結果
議案第1号	平成28年度奄美市一般会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第2号	平成28年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第3号	平成28年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第4号	平成28年度奄美市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第5号	平成28年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第6号	平成28年度奄美市訪問看護特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第7号	平成28年度奄美市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第8号	平成28年度奄美市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第9号	平成28年度奄美市水道事業会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第10号	奄美市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第11号	奄美市税条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第12号	奄美市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第13号	奄美市立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第14号	大島農業共済事務組合規約の変更について	原案可決
議案第15号	平成29年度奄美市一般会計予算について	原案可決

議案第 16 号	平成 29 年度奄美市国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決
議案第 17 号	平成 29 年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算について	原案可決
議案第 18 号	平成 29 年度奄美市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第 19 号	平成 29 年度奄美市介護保険事業特別会計予算について	原案可決
議案第 20 号	平成 29 年度奄美市訪問看護特別会計予算について	原案可決
議案第 21 号	平成 29 年度奄美市公共下水道事業特別会計予算について	原案可決
議案第 22 号	平成 29 年度奄美市農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決
議案第 23 号	平成 29 年度奄美市ふるさと創生人材育成資金特別会計予算について	原案可決
議案第 24 号	平成 29 年度奄美市と畜場特別会計予算について	原案可決
議案第 25 号	平成 29 年度奄美市交通災害共済特別会計予算について	原案可決
議案第 26 号	平成 29 年度奄美市水道事業会計予算について	原案可決
議案第 27 号	奄美市一般職非常勤職員等の任用、勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 28 号	奄美市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 29 号	奄美市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 30 号	奄美市技能、労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 31 号	奄美市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 32 号	奄美市ふるさと応援基金条例の制定について	原案可決
議案第 33 号	奄美市出産祝い金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 34 号	奄美市敬老祝い金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 35 号	奄美市飼い猫の適正な飼養及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 36 号	奄美市中小企業・小規模企業振興条例の制定について	原案可決
議案第 37 号	奄美市笠利大島紬共同のり張場条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 38 号	奄美市定住促進住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 39 号	奄美市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 40 号	教育委員会委員の任命について（當郷 裕之氏）	同 意
発議第 1 号	「議決第 3 号 奄美市飼い猫の適正な飼養及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」に対する附帯決議	原案可決
発議第 2 号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出について	原案可決
発議第 3 号	国道 58 号おがみ山バイパス事業の早期再開に関する意見書について	原案可決

## 請 願 ・ 陳 情 の 状 況

受理番号	件 名	提 出 者	提出者	付託委員会
陳情第 1 号	「市議会による自衛隊配備に関する説明会」開催を求める陳情	戦争のための自衛隊基地配備に反対する奄美ネット 代表 城村 典文	不採択	総務企画

※前議会からの継続審査

平成 28 年 陳情第 2 号	「奄美に大学を設置する審議会」の発足に関する陳情	自然と文化を守る奄美会議 大津 幸夫	採 択	総務企画
--------------------	--------------------------	-----------------------	-----	------

※請願や陳情が採択された場合については、議会本会議で意見書としても可決し、内閣総理大臣をはじめとする国の各省庁などの関係機関に送付することもあります。

## 第一回定例会 の 常任委員会 の 審査概要

第一回定例会における常任委員会では、一月二十一日に文教厚生・産業建設、二十二日に総務企画のそれぞれの委員会で議案・陳情について審査しました。  
常任委員会ででの審査についてご紹介します。

### 総務企画委員会

総務企画委員会では議案3件及び陳情2件を審査し議案3件を原案のとおり可決すべきものと決し、陳情第1号は不採択、平成28年陳情第2号は採択すべきものとなりました。

一般会計補正予算の主なものとして、歳入につきましては、利子および配当金1億6651万円円は合併町づくり基金及び減債基金の国債運用による収入額との答弁。歳出につきましては、積立金のうち減債基金1億261万8千円は、国債の運用分(571万8千円)及び公共施設整備基金から名瀬・住用学校給食セ

ンター建設(340万円)及び平田浄水場更新事業出資金(9350万円)に伴う、起債償還金の財源として減債基金に積替えるものとの答弁。委員よりふるさと納税はいくら来ているかとの質疑があり、当局からは2月22日現在のふるさと納税件数は1702件で合計金額は8207万8689円との答弁。委員よりマイナンバーカードの普及率について質疑があり、1月31日現在の県がまとめた申請状況は、奄美市で5355件(対人口比11.97%)県内4番目で全国では255番目との答弁がありました。奄美市税条例等の一部改正については、軽自動車税の新制度創設の実施時期変更など、所要の規定の整備を行うことの説明がありました。

### 文教厚生委員会

文教厚生委員会では、議案7件を審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、不妊・不育治療支援助成金200万円減、低所得高齢者支援臨時福祉給付金1734万円減、障害者福祉費扶助費3千万円増、お達者ご長寿応援事業

補助金609万8千円減、児童手当扶助費3588万5千円減、保育士賃金990万円減、生活保護医療扶助費1億2500万円増、八幡上報償金1023万円減、大島北高等学校生徒通学費等補助金185万円減、私立幼稚園就園奨励補助金360万円減、名瀬・住用地区学校給食センター工事請負費1650万円増を計上した等の説明がありました。

生活保護医療扶助費の増額について質疑があり、がん患者の入院が増えたことと更生医療の対象となると思われた手術が指定医療機関での手術でなかったことで、生活保護医療扶助費での支出となったことの説明でした。保育士賃金の減額について質疑があり、保育士を確保できなかったことで待機児童が発生したため、みなし保育士の研修等を実施して保育士の確保に努めるとの説明でした。私立幼稚園就園奨励補助金の減額について質疑があり、当初の見込みより認定世帯が23名減少したためとの説明でした。

奄美市立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定については、民間の園児の預かり保育施設の閉園により、朝日小学校付属幼稚園で預かり保育を行

うための条例改正との説明があり、保育料を月額1万2千円を超えないと定めたことについて質疑があり、元々預かり保育をしていた事業所の額を基本として、他の事業所とのバランスを考慮し、通常月と夏休みの7月・8月では、保育料が異なることの説明でした。

### 産業建設委員会

産業建設委員会では、議案6件を審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、委員から、奄美市経営対策資金利子補助金について質疑があり、本年度実績見込みは59事業所、融資額は5億9361万円を見込んでいる。2年間利息補助をする制度であり、来年までを予定しているとの答弁がありました。また委員から、松くい虫駆除事業費についての質疑があり、住用地区は数年前から、名瀬地区は昨年終息に向かっている。空利地区はまだ進行しているがそこが終われば終息に向かうのではとの答弁がありました。

奄美市公共下水道事業特別会計補正予算について、特定環境保全公共下水道事業の工事請負費について質疑があり、管路に係るものは定率50%となるが、処理場の中でも直接汚水の処理に係る分は55%の高率補助となっているとの答弁がありました。

奄美市水道事業会計補正予算について、水道利用料収入の今後の見通しについて質疑があり、人口問題研究所の推計では奄美市の人口は48年後には半分近くになるとのことから、収益に見合った施設を作っていくかなければいけないとの答弁がありました。

奄美市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について実績加算額の想定について質疑があり、成果払いについては前年の1月から12月の農地集積の成果実績に対応する部分と、活動実績の場合は、農業経営の意向調査、中間管理機構との連携、利用状況調査、遊休農地調査、新規参入者への農地のあっせんの部分等であるとの答弁がありました。

## 第一回定例会 特別委員会 の審査概要

第二回定例会に上程された平成29年度の各会計予算議案等の審査のため、一般会計と特別会計に分けて二つの特別委員会を設置いたしました。

三月十三日、十五日、十六日の三日間の日程で慎重に審査をいたし、最終本会議に報告、採決の結果、可決となりました。審査の一部をご紹介します。

### 【一般会計予算等審査】

一般会計予算等審査特別委員会では、三日間の日程で議案13件を審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

質疑に入る前に1款から11款4項公用施設災害復旧費について平成29年度予算案説明資料に基づき概要説明がなされ、輪内地区での防犯カメラ設置場所等の質疑があり、具体的にはこれから絞っていくとの答弁がなされた。Jアラート保守点検での問題点の質疑に、去年の訓練では、問題点があったが、部品を交換し先月の訓練では問題点は解消してい

るとの答弁。一般会計予算については、地方創生推進費フリーランス支援事業での結果と成果についての質疑があり、平成28年度は、4講座14回開催している。受講者数は延べ、300人で全体を受講した方は、73名でその後任意団体のフリーランス協会へ登録を願

い、その登録者に対し、1年間の実績を調査しているとの答弁。ふるさと納税活用事業費での一集落1ブランドまつりについての質疑があり、現在奄美市で19集落21ブランドを指定している、この事業で21ブランドを一室に集めて内外にアピールするイベントの予定との答弁。臨時地方道路整備費9220万円についての地区何路線の計画かとの質疑があり、名瀬地区では朝仁30号ほか7路線、住用地区は市道三太郎線ほか3路線、笠利地区は市道赤木名1号線ほか5路線の整備を行う予定との答弁。教育費においては小学校、中学校でのパソコン保有台数、授業における成果、学校設備点検、シマグチ伝承活動推進委員会、奄美市公立幼稚園あり方検討委員会、ALT派遣報酬費、教職員住宅管理費の修繕料、等々多くの質疑がなされました。

### 【特別会計予算等審査】

特別会計予算等審査特別委員会では、二日間の日程で12件の特別会計予算等議案について審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

ふるさと創生人材育成資金特別会計予算では、基金の現在高や運用についての質疑があり、今後返還される貸付金1億7865万3340円、定期預金8千万円、現金5329万4105円、繰越額1149万5555円の合計3億2343万8千円であり、運用収入10万円は定期預金に係る運用利息であるとの説明がありました。

公共下水道事業特別会計予算では、地方公営企業法適用移行支援業務の委託内容についての質疑があり、バランスシート作成のための資産の把握・電算システム移行・条例改正や関係諸機関との調整などのサポートの3点がメインであり、平成32年4月に公営企業に移行する予定との説明がありました。

奄美市水道事業会計予算では、朝日地区簡易水道区域拡張事業について質疑があり、大熊地区に整備される自衛隊駐屯地に毎日

約200トンの水量を送ってほしいとの要望を受けて、現在民生用として使っている既存の水源、浄水設備を増補しなければならず、既存設備の改良と自衛隊専用となる駐屯地までの送水管や中継タンクなどの水道施設の整備を行うとの説明がありました。

国民健康保険事業特別会計予算では累積赤字の解消をどのように考えているかとの質疑に、国民健康保険税の収納率向上・医療費の適正化・保健事業の推進の3本柱で取り組んでおり、27年度決算では約5千万円の解消が図られたとの説明がありました。

後期高齢者医療特別会計予算では29年度より実施する保険事業について質疑があり、被保険者が人間ドックを利用する際の助成金で、国保と同じ内容となり、1日・2日ドックは7割助成、PET検査は定額5万円の助成となるとの説明がありました。

**平成29年  
第2回定例会は  
6月13日(火)  
開会予定です**

## 議 会 の 動 き

- 平成29年 2月 3日 2017 新春経済懇談会  
 4日 第37回奄美市美術展覧会開会式  
 5日 第9回奄美観光桜マラソン  
 9日 奄美大島商工会議所との意見交換会  
 10日 議会だより編集委員会  
 11日 奄美地区郵便局長会総会  
 14日 奄美群島市町村議会議員研修会  
 (講師：全国市議会議長会調査広報部 副部長 本橋 謙治氏)  
 15日 議会運営委員会・全員協議会  
 19日 平成28年度 奄美市笠利生涯学習講座閉講式・発表会  
 21日 第1回定例会開会  
 22日 産業建設委員会、文教厚生委員会  
 23日 総務企画委員会  
 24日 本会議・一般質問通告  
 28日 市町村議会議長会(大島郡)
- 3月 5日 平成28年度 奄美市名瀬・住用地区生涯講座閉講式・発表会  
 6日 一般質問 平川議員、里議員、松山議員、関議員、師玉議員  
 7日 一般質問 橋口(耕)議員、戸内議員、崎田議員、元野議員、西議員  
 8日 一般質問 林山議員、橋口(和)議員、奥議員、安田議員  
 9日 一般質問 栄議員、三島議員、与議員、川口議員  
 10日 本会議
- 13日、15日、16日 予算等審査特別委員会(一般会計は3日間、特別会計は2日間)  
 24日 最終本会議  
 26日 バニラ・エア関西⇄奄美就航イベント
- 4月 3日 奄美市合同入社式  
 13日 議会議長・事務局長合同会(大島郡)  
 16日 第100回関西奄美会総会並びに芸能大会  
 20日 鹿児島県市議会議長会定期総会(奄美市)  
 25日 平成29年度県政説明会  
 27日 第92回九州市議会議長会定期総会(熊本市)

### 編集あとがき

奄美市が誕生して、十一年目の三月二十日を迎えた。合併して良き新市を標榜し、行政、議会が車の両輪となり一体として取り組んで参りました。しかし人口は、約五千人程減少しており、諸施策に影響を及ぼす喫緊の課題であり、議会としても懸命に取り組んでいかねばなりません。

一方、今「奄美に大きな風が吹いている」と言われております。それは、この度、奄美群島国立公園の誕生を初め、成田―奄美路線に続き、LCCバニラエアの奄美―関西国際空港路線の開設就航であります。新奄振交付金の有効活用により、外海離島である奄美群島への恩恵は益々高まっていくものと確信いたします。

又、名瀬の街は、ここ二、三年で大きく変貌していきます。中心市街地末広港土地区画整理事業、マリントアウン構想事業、奄美市役所本庁舎建設、更には、陸上自衛隊駐屯地建設等が一挙に完成の運びとなります。来年は、奄美、琉球世界自然遺産登録が実現となるでしょう。国内はもとより、世界から多くの人々が訪れる事を期待しつつ、奄美市議会として政策立案検討委員会の設置を考えたと思う所です。  
(伊東 隆吉)

### 市議会だより編集委員会

委員長 師玉 敏代  
 副委員長 松山 さおり  
 委員 関 誠之  
 安田 壮平  
 崎田 信正  
 伊東 隆吉  
 橋口 耕太郎  
 林山 克巳

奄美市議会ホームページアドレス <http://www.city.amami.lg.jp/amami02/amami24.asp>